KagoGIGA インフォメーション ⑲

鹿児島県教育庁高校教育課
学校教育ＩＣＴ推進班
令和６年３月号

今回の話題 県研究協力校「学校における教育の情報化」研究公開報告

垂水市立垂水中央中学校
令和5年7月7日(金)開催

テーマ「主体的に学び，考えを深め合う生徒の育成」
～ICTを活用した指導法の工夫を通して～

国語

道徳

学級活動

分科会①

学年	教 科 等	単 元 名 等	授 業 者
1年	国 語	思考のレッスン1 意見と根拠	肱岡 洋子 教諭
2年	道 徳	本当の友達(五月の風－カナ－)	竹ノ下 流星 教諭
3年	学級活動	あなたの「働く理由」って？	木原 優希 教諭

分科会②

研究発表
西村 八郎 教諭

全体会

指導講話：県教育庁義務教育課
水島 淳 義務教育課長兼学校教育ICT推進監

分科会③

教科等	司 会 者	記 録 者	指 導 助 言 者
国語	垂水市立協和小学校 持留 将雄 教頭	垂水市立垂水中央中学校 上之園 明子 教諭	垂水市教育委員会 永倉 仁貴 主幹兼指導主事
道徳	垂水市立松ケ崎小学校 西窪 賢蔵 教頭	垂水市立垂水中央中学校 河野 絹代 教諭	県教育庁高校教育課 中村 太一 指導主事
学級活動	垂水市立柊原小学校 菅牟田 勉 教頭	垂水市立垂水中央中学校 上村 なおみ 教諭	大隅教育事務所 植元 裕次 指導主事

参加者の内訳

校 種 等	人 数
小 学 校	14
中 学 校	18
義務教育学校	1
高等学校	9
大 学	1
行 政	16
報 道	1
合 計	60

研究紀要やリーフレット，公開当日の指導案等は，右の二次元コードを読み込んだ（またはクリックした）先の特設Ｗｅｂページでダウンロードできます。

参加者の感想

- 子供たちが，タブレットを思考ツールとして自然に使っている姿に驚きました。
- 考え方を練り合う場面や振り返りの場面で，効果的にアプリを活用していた。
- 研究授業の様子や分科会の協議から，先生方が普段から授業の中で積極的にＩＣＴ機器を活用している雰囲気が窺えました。
- 子供たちが，自らタブレットやペーパーを選択し，学習活動に取り組んでいる姿がよかった。

「授業改善」，「生徒指導・生徒会活動充実」，「業務改善」の視点で研究を進められ，「GIGA スクールのまち_垂水」をキャッチフレーズに，市教育委員会とガッチリとタッグを組んだ市全体での取組が進められていました。文部科学省の「リーディング DX スクール」指定校でもあり，小・中で連携した実践もとても参考になりました。

西之表市立榕城小学校

テーマ「学習を自分との関わりで考え，自ら学ぶ子供の育成」
～地域素材の教材化とICTを活用した授業づくり～

生活科

体育科

社会科

分科会①

分科会②

学年	教科等	単元名等	授業者
2年	生活科	あしたへジャンプ	岡村 瑠利香 教諭
3年	体育科	表現「種子島たんけんたい」	末永 拓也 教諭
5年	社会科	森林とともに生きる	中野 嘉彦 教諭

教科等	司会者	記録者	指導助言者
生活科	西之表市立安納小学校 東 和美 教頭	西之表市立榕城小学校 四角目 涼子 教諭	西之表市教育委員会学校教育課 津曲 威彦 指導係長
体育科	西之表市立現和小学校 関 良子 教頭	西之表市立榕城小学校 有馬 真理 教諭	熊毛教育事務所指導課 平原 金智 指導主事
社会科	西之表市立伊関小学校 濵脇 哲哉 教頭	西之表市立榕城小学校 上野 明希 教諭	県教育庁高校教育課 川原 省吾 指導主事

令和6年2月16日(金)開催

参加者の内訳

校種等	人数
小学校	55
中学校	3
義務教育学校	2
高等学校	3
特別支援学校	4
行政	4
合計	71

研究発表
東 拓也 教諭

全体会

指導講話：県教育庁高校教育課 学校教育ICT推進班
鈴木 周一郎 主任指導主事

分科会③

研究紀要やリーフレット，公開当日の指導案等は，右の二次元コードを読み込んだ（またはクリックした）先の特設Ｗｅｂページでダウンロードできます。

参加者の感想

- 子供たちが自分の考えをもち，活発に意見交換する姿が印象的でした。課題に対して主体的に学んでいるなと感じました。
- 生活科におけるタブレット活用がとても参考になりました。少しずつ自分も取り入れていきたいと思いました。
- 地域素材に関する子供たちの考えや気持ちを汲みながら，表現運動に生かしているところが伝わってきました。
- ＩＣＴ活用において，個別最適化と協働的な学びが言われている中，５年生の子供たちが根拠となる資料をもとに，自分の言葉で意見を伝えている姿がとても印象的でした。
- 『地域素材の活用』は中学校の総合で行なっている中大連携のキャリア教育にも繋がります。小学校の取組を参考に総合だけでなく教科の枠を越えてさらによいものになるよう工夫をしていきたいと思いました。

本県には有形・無形の魅力あふれる教育資源があります。榕城小学校の研究は，「地域素材のもつ特性・強み」と「ICT のもつ特性・強み」に着目し，それらを相互作用させる中で，子供たちの資質・能力の育成につなげるものとしていこうとするもので，他校や他地区でもとても参考になることが多いのではないかと思いました。

ちょこっとコラム 「100人の1歩のための100のヒント」共有しています!!

県教育委員会では，「1人の 100 歩より 100 人の1歩」を合言葉に，教育の情報化推進に係る教職員のICT 活用指導力の向上等に取り組んでいるところです。その取組の一つとして，今年度，学校におけるICT活用の更なる充実を図るため，ICT 活用に対して県内の教職員の皆さんが，翌日からでもすぐ実践してみようと考えられるような比較的に容易と思われる実践事例等を募集し，100 を超える事例が集まり，「上半期版」と「下半期版」に分けて，皆さんに共有しました。

併せて，教員相互の情報共有や交流等を目的として開設している Microsoft Teams「KagoGIGA 情報交流室」や特設サイト(右の二次元コードからアクセス可)でも公開しておりますので，そちらから是非ご覧ください。

※ Microsoft Teams「KagoGIGA 情報交流室」の登録，特設サイトの閲覧には，県域教育用アカウントが必要です。